

[ スパークル ]  
**Sparkle**  
*Surugadai University News*

2023  
summer

特集

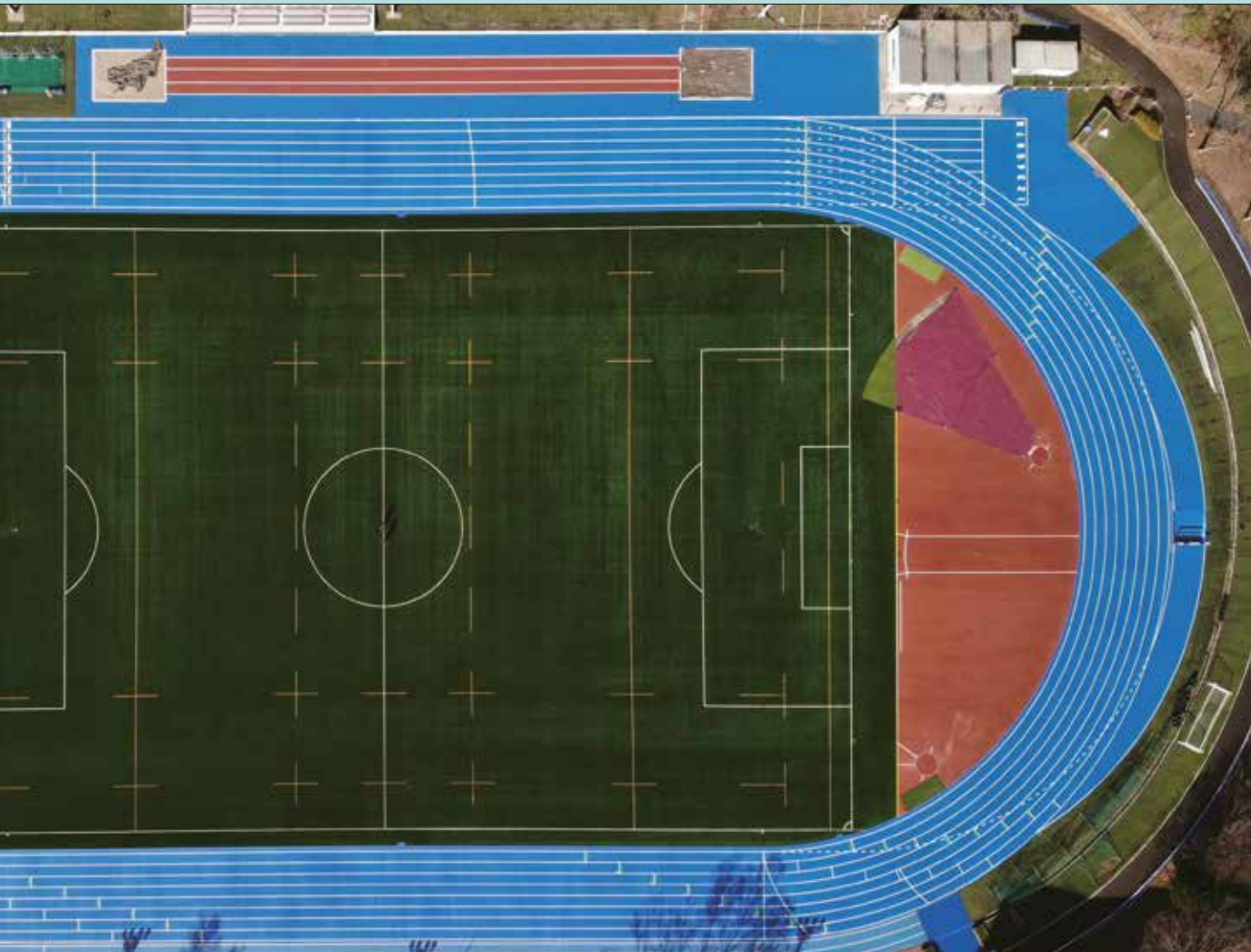
## 陸上競技場リニューアル

パワーアップした競技場が授業や課外活動でどのように活用されているかご紹介します！

CROSSTALK 駿河台大学で学ぶ留学生  
教員紹介 法学部 黒木美来助教  
学生紹介 日本のe-sportsを変える 古賀さん  
活動報告 2023年5月～7月  
駿大スポーツ # 強く、楽しく、美しく 駅伝部（女子）  
Circle and Me メープル× 赤堀さん



# 学内陸上競技場をリニューアルしました！



今回の改修工事は、国内で数々の施工実績のある長谷川体育施設株式会社により「人工芝フィールドの張替え」、「400mトラックの舗装更新」、「雨水排水設備の機能向上」、「夜間照明LED化」を行いました。

竣工から37年が経過し、排水溝は部分的な損壊や土砂で塞がる箇所が散見されるなど、大雨の後の排水問題が1番の課題でした。これらを改善すべくトラック内側のU字溝は全て新規に更新し、フィールド下の地中には一時的に雨水を蓄えられる貯留槽も設け、排水ルートを新設しました。

2023年3月20日に待ちに待った竣工式が実施され、この春から再び、学生の活発な声や競技風景が見聞きできるようになりました。今後も授業や課外活動、学外向けイベント等で多くの方にご活用いただけることを期待しています。

関係者からの改善要望の追加、さらに円安及び重油価格の高騰による原材料値上げなどの影響で、年度計画での想定費用を上回り、仕様やコストの見直しに四苦八苦しましたが、無事完成し安堵しています。新たな競技場を使用する学生には、気持ちが高揚する中で練習に励んでもらい、良い成績を残せる足掛かりとなればと思います。

財務部次長 兼 施設管理課長  
三輪泰志



本学自慢の校舎群に連なる学内陸上競技場。これまで、ここでスキルやパワーを付けた学生たちが国内外で目覚ましい活躍を見せてくれました。今後も学生たちが競技でより高いパフォーマンス発揮できることを期待して、陸上競技場のリニューアル工事に2022年11月より着工。赤レンガ色から鮮やかなブルーのトラックへ様変わりしました。

### Point 1 埋め込みメジャー



10cm間隔が分かるようメジャーを埋め込みました。ナショナルトレーニングセンターの陸上競技場を参考にしており、歩幅単位を意識した練習が行える科学的なトレーニング環境を整備しました。

### Point 2 人工芝の高耐久化

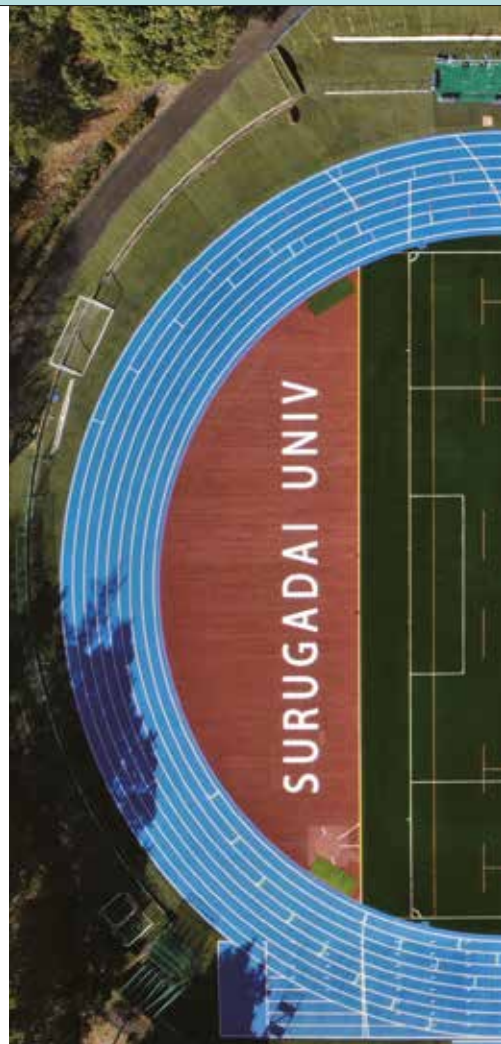


以前もクッション性が高くひざや腰への負担軽減の効果もあるロングパイル人工芝を導入していましたが、切れにくく紫外線にも強い耐久性に優れた人工芝に更新しました。快適なプレー環境を長期間維持できます。

### Point 3 高照度の照明環境



放課後の部活動でもトレーニングに集中できるよう、照明をLED化し、照度の向上、完全点灯までの時間短縮などを改善しました。また、LEDはエネルギー効率がが高く、長期的なコスト削減が期待できます。



コートサイズが正規になり、より実践をイメージしやすくなりました。選手のモチベーションにも繋がり、練習の質も向上しています。結果で大学へ恩返しできるよう、北関東リーグ1部優勝、関東リーグ昇格を目指し練習に励んでいます。



サッカー部 主将  
井部友裕  
(経済経営学部4年)

以前は継ぎはぎだった箇所が平らに整備され、トラックの色も赤から青に変わり、新鮮な気持ちで練習に臨んでいます。新しい競技場を大切に使い、男子は関東インカレ1部昇格、女子はインカレ優勝・上位入賞を目標に頑張ります。



陸上競技部 主将  
堀越朝登  
(スポーツ科学部4年)

陸上競技場改修にあたっては、練習効率・授業効率・研究効率を高めるため、すべてのレーンに5mごとのマーク及びホームストレート(100m)に10cm刻みのマークをお願いしました。その要望が叶い、現在はとても良い環境で練習・授業・研究ともに実施が可能となりました。おそらく全国初の試みなのではないかと思われます。



スポーツ科学部講師 兼  
本学陸上競技部監督  
邑木隆二

日本（駿河台大学）へ留学をした理由は何ですか？

トウイリン ベトナムでは日本のものが流行っていて、果物や野菜、特に炊飯器が人気です。子ども頃はタイやベトナムの人気商品もあるのに、なぜ日本の物を買うのか理解できませんでした。親から日本の技術のすごさを教えてもらいうちに、私も発展している日本で起業して成長したいと思うようになりました。運よく、高校生の時に、朝日新聞奨学金をもらえることになり、日本に留学する大きなきっかけになりました。

駿河台大学の経済経営学部では、経済と経営の両方が勉強できるので、どちらもまだ何もわかってない私にとって、とても魅力的なため受験しました。ユリウス 子どもの時から、日本のマンガ、アニメ、音楽などのカルチャーに触れていました。ある時、日本の歴史にも興味を持ち、日本語の勉強をするようになりました。今年の春から交換留学制度を利用して駿河台大学へ来ました。

ゴッドフリー ブロランナーとして鍛えるために駿河台大学へ入学しました。将来は実業団に所属したいと思っています。

## Sparkle CROSSTALK

# 海外から来た学生の日本での挑戦

本学の留学生3人に集ってもらい、それぞれが駿河台大学に学びに来た目的や現在の大学生活について語ってもらいました。じっくり対面して話すのは、初めての3人でしたが、お互いの話を聞く中で親交が深められたようです。



デナー ユリウス  
DEHNER JULIUS

ドイツ出身  
交換・派遣受入留学生  
1年間の留学制度を利用して2023年4月より駿河台大学に在籍中。

ドトウイリン  
DO THUY LINH

ベトナム出身  
経済経営学部3年  
高校卒業後日本語学校を経て、2021年に駿河台大学へ入学。

ゴッドフリー ムサンガ  
GODFREY MUSANGA

ケニア出身  
経済経営学部2年  
2022年に駿河台大学入学。駅伝部に所属して、ランナーとしての活躍を目指す。





メディア情報学部 3年

## 古賀 雄大さん

eスポーツで人気の「フォートナイト」でアジア大会5位入賞経験がある古賀さん。これまでの活動と大学生活についてインタビューを行いました。

私は、高校3年からeスポーツの競技者として国・年齢を問わず対戦してきました。プロとして活動する中で、少しずつ考え方に変化が出てきました。それは国内のeスポーツに対する偏見がまだ大きいことです。日本でのスポーツに対するイメージを変えていかなければ、プロとして活動を継続していくことは難しいと感じていました。

eスポーツはゲーム、いわゆる遊びの一環として見られてしまい、どんなに努力していても国内の評価は高くありません。プロの大会でも優勝賞金が国内では50万円程度もしくはそれ以下のこともあります。しかし、欧米では4000〜5000万円も珍しくなく、桁が全く違います。ゲームには、課金してレベルアップできるものもありますが、eスポーツにはその類のものは含まれず、純粋に個人のスキルを競います。

私は、幼いころ、サッカーをやっていましたが、テクニックを鍛え、対戦相手を分析し、あらゆる場面を想定して即時に判断することは、同じように評価されることだと思っています。Wカップが開催されると、普段サッカーを観戦しない人も応援する現象が起きますが、eスポーツは世界レベルの大会が開催されていても、まだメディアに取り上げてもらえない現状があります。このような現実を目の当たりにしてきて、私はeスポーツの普及活動に力を入れていきたいと考えています。



## 10年後の未来を見据えて eスポーツに対する潜在意識を変える!

になりました。

これまで小学校や老人介護施設でeスポーツのレクチャーを行ってきました。現在、小学生を対象としたeスポーツスクール「Sports Salon Tokyo」で講師の仕事もしています。世界的に人気のゲーム「フォートナイト」を教材に、パソコンの使い方、インターネットの基礎知識やリスクなどを教え、ネット社会のコミュニケーション能力・リテラシーを育成していきます。受講者には、時間の制御、感情のコントロールなどコンディショニングについても話すようにしています。これもサッカーなどのスポーツと同じで、やった分だけ結果が伴いますが、寝ずに練習して必ず強くなれるものではありません。普段の生活とバランスよくやることで、周りからの理解も得られることを伝えていきます。今は、このスクールの規模をさらに大きくしていきたいと考えています。

大学進学にあたっては、eスポーツを盛り上げるためには、ゲーム制作、映像・音響に関する知識を身に付け、説得力のあるPRをしていきたいと思ひ、すべてのジャンルが学べる駿河台大学のメディア情報学部に入学しました。実際にプログラミングを勉強してみても、改めてゲーム制作技術のすごさを実感しました。最近、テレビ番組やネットニュースからの取材依頼も多く受けています。大学卒業までに自分自身をさらに成長させていきたいです。

# Faculty Introduction

## 教員紹介

現在の研究に行き着いたきっかけや  
現在担当するゼミで行っている  
授業の様子についてお伺いしていきます。

「国際協力」×  
「世の中にあるフィクションの存在」

高校生の時点で、社会科学系の分野に興味がありました。自分が深めていきたい分野が明確ではなかったため、大学で決めようと考えていました。結果的に、大学入学直後の授業で、世の中にあるフィクションの存在に気づかされ、政治学の魅力にはまっています。また、高校の時からNGO団体を作り活動するなど国際協力に強い関心があったことが政治学とリンクし、今の国際政治の研究に至ります。

自分の意見を持ち、  
相手に伝えられる力を養う

私が担当する3年生ゼミでは、(1)ゼミの中で話せる友人・知人をつくる、(2)質問と現実の動きを関連させて考える力を養う、(3)発表の経験を積むという3つをベースにしています。春学期は「国際社会の歴史を読み解く」をテーマに文献の輪読を行います。特に初めて読む論文となると1人で読み切ることが難しいため、章毎に分担して予習し、レジュメを作成して発表していきます。さらに「ディスカッション担当」を設けることで、発表内容の不明点や違和感、論じるべきだった箇所を「切込み隊長」として議論するきっかけを作り、ゼミ生みんなが考

えを深めていきます。秋学期からは、EU（欧州連合）に関する文献を1冊読みます。要約する力も大事ですが、著者とは異なる視点で派生して物事を考える力を大事にしています。

また、授業の最初の30分を使い、「ニュースの時間」を設け、各自が気になった公共政策に関わる最近のニュースについて、毎週、新聞から探して要約し、小グループに分かれて報告し合います。毎回30分で終わらないほど盛り上がりを見せています。

「人との交流」「学びの財産」を  
提供したい

学生には、他大学との交流と学びの財産を残してあげたいという思いがあり、課外活動として学外の政策コンペティションなどにも参加しています。「日本政治法律学会2022年度秋季研究会大会学生コンペ」では、全国の大学から11グループの参加がある中で、優秀賞に選ばれました。コロナ禍とウクライナ危機を背景にした「二つの危機と政治・法・政策を考える」というテーマに対して「一般家庭への影響」と題して国と地方の施策比較や物価上昇のデータを分析・グラフ化し、オリジナルな視点と分析力が評価されました。学生たちも自信が付いたようで、就職活動でも『ガクチ

カ』としてPRしているようです。学生コンペの前には、知の交換という意図も含めて、専門分野が異なる先生やゼミ生との交流機会を設け、プレゼンの練習なども行っています。学生も普段とは違う意見をもらうことで刺激になっているようです。

学生たちへの期待

日頃生きている中で、あるいはニュースなどに触れた時に、「これってどうなのか？」「自分はどんな意見だろうか？」「自分と違う考えの人はどのような？」「自分と違う考えの人はどのような？」「自分と違う考えの人はどのような？」と考えるだろうか？とゼミ生には多角的に考えられる人になって欲しいです。そして、少しでも行動できる人になってもらいたいと思います。そのために、学生と良好な関係を築きつつ、楽しく苦労しながらゼミを実施しています。また、私も毎回のゼミで学生から学びを得ていきたいと思っています。



法学部

黒木 美來 助教

専門分野 ヨーロッパ史/政治学/国際関係論

その他の活動、最新情報は大学HPやTwitterで更新しています。  
ぜひご覧ください。



公式HP



公式Twitter



### 情報処理教育センター主催「タイピングコンテスト」

2023年6月12日(月)～6月24日(土)

タイピングウィークとして2週間に渡り、メディアセンター2階PCエリアで、学内コンテストが行われました。個人戦と団体戦合わせて3部門で順位を争いました。小学生からパソコンを使い始めていた学生も多く、イベント終了間際には、レベルの高い争いをするなど連日盛り上がりを見せていました。このイベントで出会ったライバル同士でチームを組み、団体戦に挑戦するなど、新たな出会いも生まれていました。



### 自宅でも無理なく健康増進

2023年6月24日(土)

一般市民向けの公開講座「大人のためのやさしいヨガ、ストレッチ」を開催しました。米澤講師(本学非常勤講師)が担当する全学部共通開講のスポーツ実習科目「ヨガ・ストレッチによる運動」は、学生からもとても人気があります。今回の講座では、座ったままでも無理なく内側からじんわりと筋肉を鍛えられるストレッチやポーズを中心に、1つ1つ丁寧に指導を行いました。



### 留学生の茶道体験講座開催

2023年6月26日(月)

浴衣を着付け、その後、フロンティアタワーズ内にある本格的な茶室を使用して、季節の花(紫陽花・百合)をモチーフにした主菓子とともに、留学生自身でお茶を点てていただきました。参加したドイツとベトナムの留学生にとっては、普段馴染みのない、浴衣と茶道といった日本の伝統文化に触れる貴重な体験となりました。お土産の「茶筌」を使って、自宅でもお茶を点ててみたいという声も聞かれました。



### 星への願いに、この1冊を!

2023年6月下旬～7月中旬

メディアセンターでは、6月下旬から館内に七夕飾りが登場し、多くの利用者が短冊に願いを込めました。今年は、メディアセンター職員がいくつか短冊をピックアップし、その願いをお手伝いできるような1冊を選書し紹介する「選書 FOR YOU」と題したコーナーを設けました。紹介した図書は、すぐ手に取っていただけるようメディアセンターの蔵書から選書しました。



# 駿河台大学の活動報告 *activity report*



## スウェーデンの民族音楽が教室に響き渡る

2023年5月13日(土)

北欧研究会主催「北欧音楽の調べ」を開催しました。スウェーデン民族楽器のニッケルハルパ演奏者の峰村茜さん、ギター演奏者の溝淵稔さんをお招きし、前半は、スウェーデンに特徴的な文化や民族性についてのご講演。後半は、スウェーデンの民族音楽の生演奏、そして特別ゲストのスウェーデン出身の落語家三遊亭好青年さんとスウェーデンの魅力について語るトークショーが行われました。



## 地域の魅力を感じながら学生の親睦を深める

2023年6月6日(火)

狭山市にある宮野園で学生同士の親睦を深める「茶摘み体験」を実施しました。参加者全員が茶摘み初体験ということもあり、夢中で茶摘みをしている様子や園の方の話を真剣に聞く様子が見られました。緑茶塩でいただく茶葉の天ぷらも美味しかったようです。茶畑の香りでリフレッシュし、お茶に関する知識を深められたと学生からも好評でした。



## 警察官と共に防犯意識を高め経験を積む

2023年6月8日(木)

飯能署が行う各種防犯活動に参加する「学生防犯リーダー」が、昨年に引き続き活動を開始しました。自身や市民に対して防犯意識を高めるこの活動には、警察官志望の学生が多く参加しています。「学生防犯リーダー」の委嘱式では、参加学生51名を代表して、法学部3年の伊東秀高さんが委嘱状を受け取り、法学部2年の小野響さんが決意表明を行いました。



## 「父母会定期総会」開催

2023年6月10日(土)

2023年度父母会定期総会を実施しました。この総会ではキャンパス見学会、こころとからだと学習の相談会、学年別就職セミナー、学部別就学説明会・個別相談、懇親パーティー等のプログラムが行われ、会場に訪れた保護者の方々に大学の様子をご覧いただく良い機会となりました。



### スポーツ科学部3年 高橋 愛香さん

創部当初は、部員1名。創部3年目の現在は、14名の部員となった。  
現在の目標は、全日本大学女子駅伝へ出場すること。  
創部当初から努力を重ねる、主将の高橋さんにお話しを伺った。

#### 運命的なチャンスとの出会い

高校生の時、地元の陸上強豪校で競技をしていた。陸上は高校までと決めていたが、本学駅伝部の徳本監督に女子の駅伝部立ち上げの話聞いた。駿河台大学にスポーツ科学部があり、教員志望だったことから興味を引かれた。さらに、部の立ち上げに関わるチャンスは、滅多にない。自分のチャレンジ精神に火が付いた。

#### 入部当初は、部員1人での挑戦

部員1人での練習は、想像していなかった。しかし、同期の男子部員や先輩のマネージャーと励まし合って練習する中で、仲間の存在に支えられ何とか1年を乗り越えることができた。

#### 個人からチームへ

全日本大学女子駅伝へ出場するためには、関東地区の予選会で上位に残るか、5000mの自己ベストの合計タイムで出場権を勝ち取るかである。どちらにしても個々の力が必要となるため、昨年度までは、自分にフォーカスし、個々の力を付けてきた。今年はさらに、日頃から互いがチームの一員であることを意識して、個々の目標も全体で共有し、声掛けやアドバイスし合う関係づくりを徹底している。異なる地域や考え方で走り

強さを発揮する仲間との出会い

化してきた仲間の意見は新たな発見が多い。コミュニケーションの取り方や連携方法は、箱根駅伝出場経験のある駅伝部から伝承し、体制を整えてきた。

#### #強く、楽しく、美しく

駅伝部（女子）は、自由に楽しく自分を強化することをモットーとしている。楽しくなくては続かない。でも、目標のために自主・自立・自制することが前提。体に異常を感じた時も、我慢して無理に練習を続けたりせず、周りに伝える判断も必要。「美しく」には、厳しい体重制限に縛られて弱い体にならないよう、美ボディを作り上げる意が込められている。短距離の筋トレとされる「プライオメトリクス」を取り入れるなどして肉體改造している点は、他大学にはあまりない取り組み。開発段階ではあるが、すべては目標のために、監督や部長の意見を聞き、常に自分たちに必要かを考えながら取り組んでいる。

#### 駅伝部（女子）松垣監督より

3年目にして、ようやくチームらしくなってきた。この雰囲気づくりは創部の立役者である高橋の存在が大きい。目標である全日本大学女子駅伝出場には、まだ課題は多いが、高橋が本学在籍中に、出場を果たしたい。

## 2023年度 表彰学生発表

### ● 学業成績優秀奨学生

前年度までの学業成績及び人物が特に優れている学生に対し奨学金を給付する制度です。

法学部	最優秀奨学生	4年 北村沙莉華	3年 松永妃華	2年 池田翔太			
	優秀奨学生	4年 鴨下遼太	吉川菜	重田百々果	武部裕樹	西川愛理	保坂祐希
		3年 石井滉太	伊東秀高	久保田大樹	田中駿佑	長岡理々子	齋藤涼花
2年 石塚陽和		齋藤美咲	佐々木智哉	柊澤舞依	村田拓也	遊佐亮太	
		川上綾奈	佐山奈津実				
経済経営学部	最優秀奨学生	4年 相子夏輝	3年 川島若奈	2年 木谷拓哉	滝田啓貴		
	優秀奨学生	4年 網匠未	内山颯太	高橋飛翔	根津宙斗	村島花奈	屋代芳槻
		3年 青木葉瑚	黒岩葉琉	藤野考樹	宮内大芽	渡邊悠	渡辺諒哉
2年 天野孝祐		長澤海来	松長大誠	丸山聡太	山口優		
メディア情報学部	最優秀奨学生	4年 坂本美優	3年 岡本淳雅	2年 飯野ひなた			
	優秀奨学生	4年 青木悠乃	坂本瑞樹	鶴田涼也	佐々木雅裕	松崎穂乃香	湯浅瑠璃
		3年 芝田結衣	鈴木宇翔	古谷香祐	星野萌優	山崎紅香	小野寺梢
2年 小山愛海		渋谷諒太	須藤葵唯	諏訪智宥	時任尊規	宮野祐実	
スポーツ科学部	最優秀奨学生	4年 茂呂碧斗	3年 佐藤天晟	2年 及川奈央			
	優秀奨学生	4年 青柳美有	片桐悠介	河野祥大	鞍田沙耶佳	平澤絵美	松沢優希
		3年 大澤伊織	腰塚真菜	中村木ノ実	生田目美憂	服部駿樹	藤田涼樺
2年 奥山真一朗		門田幸典	佐藤太真	鈴木葵依	田代真斗	平山晃也	
		黒川拓海					
心理学部	最優秀奨学生	4年 佐々木聖羅	3年 岡本真奈				
	優秀奨学生	2年 竇積徹勇	山崎紗也夏	鬼頭美羽			
		4年 北上怜奈	小川楓花	坂本新奈	椎野星菜	花島瑞生	山本うらら
3年 上野静剛		篠崎芽衣	原口真利亜	堀籠優月	増岡彩乃		
		2年 小森晴	宇野綾乃	澤海美空	菅家菜々美		

### ● 学部長賞

前年度までの学業成績が優秀な学生、課外活動等において顕著な活動をした学生・学生団体が表彰されます。

法学部	黒木ゼミ・笹岡ゼミ (代表学生: 4年 石垣勇武、高野玲、森山麟太郎、新井廉央)
	松平ゼミ (代表学生: 4年 池野優太) 選挙サポーター (代表学生: 3年 小出康太)
	消防団 (代表学生: 3年 仙坂廉) 法学部女子会 (代表学生: 2年 佐山奈津実)
	防犯リーダー (代表学生: 2年 結城晴仁)
経済経営学部	4年 吉田香 BUI THI NGOC HANH 3年 川島樹弥 市倉勇輝
	2年 富田龍也 福嶋大護
メディア情報学部	4年 中澤瑠奈 松原早紀 3年 古賀雄大 齋藤壮志
	2年 菊池智哉 山谷悠翔 正司琴菜 鎌田桃子
スポーツ科学部	4年 保坂真央 松田真輝 藤本唯斗 山下遼大 金成俊広 菊池航 出口夏音
	長内理紗 菊池奈々子 下田海音 宮田拓実 沼田悠武 金子柊也 唐澤一瑠
	3年 タナカエドゥアルド 小山敦司 森田光菜 2年 中上瑞葵
心理学部	4年 仁平康介 YAO LI 3年 金井智哉 鈴木萌花 2年 木佐貫花枝 堀紅香

### ● スポーツ年間特待生

スポーツ競技成績及び人物が特に優れている学生に対し奨学金を給付する制度です。

スポーツ科学部	4年 折笠泰地 (男子ホッケー部) 佐藤晃太郎 (カヌー部 [スラローム])
	3年 橋本萌生 (女子ホッケー部)
	2年 小林研太 (陸上競技部) 津田葵音 (陸上競技部)



# Circle and Me

学業とサークル活動を両立して成長している  
学生を紹介します。



ソフトテニスサークル メープル×赤堀涼介 [経済経営学部・3年]

軟式テニスサークル「メープル」を  
立ち上げたきっかけは何ですか？

最初はバドミントンサークルに所属しましたが、元々テニスをしてきた仲間や先輩が多くいました。自分自身も中学時代テニス部で、テニスをするのが大好きだったので、どうせならサークルをつかって大学のコートで思い切り楽しみたいと思ったことがきっかけです。今は、2つのサークルに所属しています。

「メープル」ではどんな活動をしていますか？

大体、基本練習をした後、試合形式でプレーを楽しんでいます。活動日当日に集まった人数にもよりますが、全体で回せるようにダブルスを組んでゲームをしています。

どんな人と一緒に活動したいですか？

とにかくいろんな人とテニスを楽しみたいと思っているので、初心者でも高校まで本気でやってきた人でも、互いのプレーを称え合う瞬間を一緒に楽しんでもくれる人なら僕としては嬉しいです。

大学の授業ではどんなことを学んでいますか？

経営関係の仕事に就きたいと考えているので、羽渕ゼミでマネジメントを学んでいます。先生の授業は、ひたすら楽しいです。ゼミでは個々の意見を問われる場面があります。どんな回答をしても先生が関西弁のノリで面白くしてくれます。自然と経営の勉強も楽しくなってきました。

高校生の自分と比べて変化を感じ  
る部分はありますか？

高校までは、自分から話しかけるタイプではなかったですが、大学では自分から声をかけるように心掛けています。その結果友達ができ、いろんな付き合いが増えて、自分でも不思議なくらい、行動力もついてきたなと感じます。今とても楽しいです。

今後の目標は何ですか？

これからインターシップも始まります。自分のやりたいことが何なのかしっかりと見極めていきたいです。